

二子玉川から見つめる、わたしの「まち」

SETAGAYA REPUBLIC

PAPER_02

いいまちって何だろう。
近所で見かけるあの人、あの店、あの景色。
都市の魅力と豊かな自然、
たくさんさんの思いが交差する二子玉川から、
みんなの「まち」の話を聞きました。



ここから、みらいずっと。

RISE WITH YOU

FUTAKO TAMAGAWA

rise

FUTAKO STORIES

二子玉川での暮らしが好きだ。都心なのに住み心地が良く、こんなにも愛着が湧くのは、何にも代えがたい豊かさがここにはあるから。まちを歩くたび、エネルギーを放っている人に吸い寄せられては、つい好きになっちゃう。まだ知らない景色も、味も、音も、きっとたくさんある。豊かさの捉え方も、人それぞれ違う。違っていいのだと許してくれる。そんなムードがこのまちにはある。



東野英生さん

金子眼鏡店 エリアマネージャー / 二子玉川ライズ店 店長

大阪府出身。大学時代、アイウェアブームにいち早く反応し、眼鏡を仕事にしようと思い立って福井県鯖江市へ。本社での勤務後、ショップスタッフとして東京や名古屋への店舗異動を経て、2011年から二子玉川ライズ店 店長を務める。



充実していてバランスが良く、 住みやすそうなまち

この二子玉川店は、ライズの開業に合わせて呼んでいただきオープンした店舗です。お客さまが何を求めているのかを掴むために、何をどう質問するのか、ということは日々意識していますね。お客さまが答えやすいような聞き方をして、一緒に選択肢を絞っていくことで、お客さまご自身が「そういうことだったんだ」「自分はこういう物が欲しかったんだ」って気付けるように。導くといえますか。でもご要望通りの提案だけでなく僕も面白くないので、ニーズを聞いた上で、+αの自分なりの提案も入れるようにしています。その提案がズバッとハマると、やっぱりこの仕事は楽しいなと思いますが、あくまでお客さま次第なので「今回は違いましたね」という場合ももちろんあります。メガネって、S・M・Lといった分かりやすいサイズ表記ではありませんし、トレンドも季節や年単位で変化するのではなく、大まかな流れが数年かけて続いていくようなイメージなんです。専門性が高い物なので、その点では我々がプロとして持っている強みを生かして、お客さまに気に入っていただけるものをお薦めできればと思っています。

商品の売れ筋は場所によってそれぞれ特徴があるのですが、二子玉川店にお越しのお客さまは、メガネを自己表現の1つとして選ぶ人や、複数のメガネを使い分けている人が多いように思います。私は15年前からこの店の店長とエリアマネージャーを兼任し、他店にも毎月足を運んでいるのですが、二子玉川店は駅直結のショッピングセンターという立地にあるので客層が幅広く、総じてお客さまからあらゆる面での余裕を感じます。納品に時間がかかってしまう場合でもご理解いただいたり。優しい人が多いイメージがありますね。

駅周辺がこれだけ充実していてバランスがいいまちって、全国的にもなかなか無いんじゃないかな。お店も映画館も自然もあって、雨の日でも濡れずに歩ける。商店街に行けば昔ながらの個人店もありますし。20年以上前、初めて二子玉川に来た時に感じた「住みやすそうなまちだな」という印象は、今も変わっていません。



「川のまち」としての魅力をもっと知ってもらえたら

以前は成城に住んでいて、二子玉川に来てもう21年になります。この辺りに引っ越そうと思った理由は単純で、世田谷の花火が好きだから。毎年、成城学園から自転車で土手沿いを走って見に来ていたんですけど、そのうち「花火会場のそばに住みたいな」と思っちゃったんです。

もう1つ、まちとの出会いのエピソードとして欠かせないのが、せたがや水辺の楽校（がっこう）ですね。幼い息子たちに付き添って川遊びの日に参加したことをきっかけに、地元の大人たちと知り合い、楽校の活動を手伝うようになりました。そうしたらある日、仲間から「カヌーやらない？」と誘われて。多摩川でカヌーに乗っていいなんてそれまで知らなかったんですけど、試しに乘せてもらったら楽しくて、すぐに自分用のカヌーを買っちゃいました。それからまわりに1人、2人とカヌー乗りが増えていき、二子玉川カヌー部を発足したのが10年前のこと。今では多摩川での環境保全活動やいかだレース、川崎市側でのカヌー教室など、いろいろな川のイベントに携わっています。特に、サンタの格好をして多摩川を下り、川辺で待つ子どもたちにお菓子を配る“サンタカヌー”は、すっかりクリスマスの名物イベントになりました。川でイベントを開くとなると、まずカヌー部に相談がくるんですよ。水上安全班みたいな立ち位置ですね。

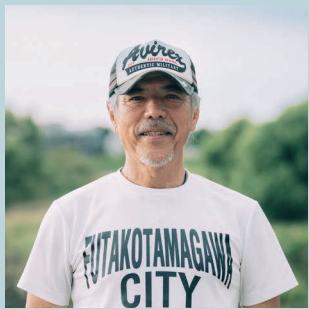
50代になるとリタイアを意識するようになるんです。気が付くと、職場にしか知り合いがいらない。まわりに住んでいる人のことを知らない、という状況になります。そういう50代、60代の人たちを僕はまちにどんどん関わらせたいんです。その入り口として、カヌー部やイベントがある。仕事の業種や立場は関係なく、「みんなで集まって楽しいことをやろうよ」って呼びかけてつながることができれば、もっといろんなことができる。もっと面白くなる。それを見ているまわりの人も楽しい。そんな輪を広げていきたいなと思っています。

二子玉川って、川のまちなんですよ。川沿いは電柱がなくて空が広いし、車通りを気にせずのびのびと遊べる。ビールを飲みながら、焚き火越しに見る夕陽が本当にきれいでね。多摩川や自然の魅力をもっと知ってもらえたら嬉しいです。



おすすめの一品は？

香味のチャーハンと回鍋肉と唐揚げはもう、間違いないです。二子玉川で働いている人なら一度は行くお店だと思います。



深谷隆之さん

株式会社エニシング 代表取締役

東京都町田市生まれ。株式会社CSK（現SCSK）に入社し、さまざまなIT企業を経て45歳で独立。二子玉川で株式会社エニシングを設立し、地域密着で活動中。二子玉川カヌー部 番長、多摩川漁業協同組合砒支部 組合員。



おすすめの一品は？

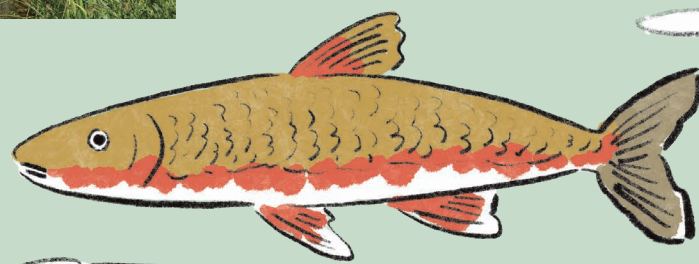
ふたこビール醸造所のFUTAKO IPA。つまみはアンチョビバター風味のフライドポテトがおすすめです。

TAMAGAWA ECOMUSEUM



私たちの暮らしは自然との関わりの中にある。
川が大地を削り、生き物が飛来し、
まちには文化が生まれた。
長い年月の積み重ねがつくったこの景色に、
住みたい理由が詰まっている気がする。

二子玉川ライズのルーフガーデンは、地域特有の自然環境や生態系を体感できる「エコミュージアム」というまちづくりの思想に基づいて設計されました。多摩川の水辺から二子玉川ライズ、国分寺崖線、等々力溪谷までの生物ネットワークをつなぐ機能を持ち、それぞれの地形の特徴や植生を再現しています。減農薬栽培で野菜を育てている「菜園広場」や、ピクニックにおすすめの「原っぱ広場」。「めだかの池」では生き物観察会を実施しています。水と緑に恵まれた世田谷の暮らしを楽しく学び、体感しながら、この豊かな自然をまちのみんなで守っていききたいですね。



春を告げる魚 マルタウグイ

多摩川を代表する在来魚の一種で、海と川の水が混じる“汽水域”に生息するコイの仲間。孵化してしばらくは川で生活しますが、やがて東京湾に下り、産卵期を迎えると春先に一斉に遡上。二子玉川駅よりも上流付近までやってきて、川底の石の隙間に卵を産みつけます。最大50cmまで成長し、オスのおなかにオレンジ色の帯(婚姻色)が現れるのが特徴です。

二子玉川では毎年3月に、マルタウグイの産卵環境をつくる活動を地域の皆さんと一緒にこなっています。

ビールがつないだ食の循環

ビールづくりでは、仕込み1回につき約100kgの麦粕が残ります。そこでふたこビール醸造所では、その麦粕を世田谷区の農福連携ファーム『せたそら』に持ち込んで熟成させ、堆肥として活用してもらい、畑で収穫された野菜を使ってフードメニューをつくるというアップサイクルを始めました。さらに自社では“麦麦パン”の原料として、そして上祖師谷の複合農家『吉実園』では鶏の飼料として麦粕が活用されるなど、ビールをきっかけに、気づけば世田谷区内でさまざまな食の循環が誕生しました。『せたそら』では今年からホップも育てていただいているので、収穫が今から楽しみです。

こうした私たちの取り組みに対して関心を寄せてくださる方や、遠方から視察に来られる方との出会いもたくさんありました。「ビールづくりを通じて地域コミュニティを盛り上げたい」という創業当初から変わらない思いが、二子玉川から羽ばたき、今もなお全国各地へ広がっていることを本当に嬉しく思います。

二子玉川には、新しいチャレンジや移り住んできた人のことをみんなが歓迎してくれるような、間口の広さがあるように思います。ふたこビールが、そんな魅力的なまちや人との出会いの一助になれば嬉しいです。



市原尚子さん

ふたこビール醸造所

世田谷区玉川3-13-7柳小路南角2F

(二子玉川駅から徒歩5分)

営業日：月火水木日11:30~22:00 /
金土 11:30~23:00

定休日：第4火曜日

<https://futakobeer.com/>

CRAFT ICE
CREAM BAR

7月18日(土)~20日(月・祝)開催のイベント『ふたこの縁日』では、
KIKI NATURAL ICECREAM × ふたこビールのコラボが実現！
限定フレーバーのクラフトアイスをどうぞお楽しみに。
イベント詳細は次のページをチェック！



二子玉川ライズ15周年キックオフイベントとして、『私の広場 -SETAGAYA REPUBLIC FES-』を3月20日(金・祝)～22日(日)に開催。
GARDEN・MARKET・SESSIONの3エリアで、マーケットやワークショップ、音楽ライブが行われ、思い思いにまちを楽しんだ3日間となりました。

GARDEN(ガレリア)

段ボールまちづくりワークショップ

二子玉川ライズ内で回収した使用済み段ボールが、カラフルな「まち」に大変身!子どもたちは色とりどりの絵の具を手自由に絵を描き、終始笑顔があふれていました。



草花で彩るウェルカムゲート

フラワーアーティスト密林東京と一緒に、切り花を使ってガレリアのウェルカムゲートを制作。大人気コンテンツとなりました。



MARKET(中央広場)

「私の広場」ローカルマーケット

フードやドリンク、古着、生活アイテムなど、世田谷を中心とした60店舗が集結。終日多くの人々が行き交い、あちこちで会話が弾んでいました。



コミュニティディナー

二子玉川の名店5店舗が手がけた特別フードとワインが並び、夜風の中で食事を楽しむひととき。ピーター・バラカン氏とNEW VALLEY 千葉氏によるトークセッションでは世田谷やワインの話も。



SESSION(スタジオ & ホール)

いっせーのセッション!

幻想的なライブプロジェクションが照らす中、プロのアーティストによる即興セッションが響いた音楽ライブ。大人も子どもも自由に楽器を鳴らしたり踊ったりと、ライブならではの調和が生まれました。



2026年7月18日(土)～20日(月・祝)

11:00-17:00



詳細はWEBへ

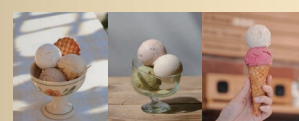
二子玉川ライズ スタジオ & ホール [入場無料]

※一部コンテンツは有料です



季節のアイス、
食べなきゃソンソン!!

クラフトアイスを楽しめるBARが登場。
ふたこの縁日限定のフレーバーも!一ロごとに
広がる個性豊かな味わいで、夏のひと休みを。



食べて、つくって、
遊ばにゃソンソン!!

夏らしいフードやアイテムに加え、
陶芸や絵付け、ビーチサンダル作りなど
親子みんなで楽しめる縁日マーケット。



縁日を盛り上げる音楽で、
踊らにゃソンソン!!

民謡や世界各地のリズムを現代的に響かせる、
音楽トリオ『KAMOSU』が演奏。手拍子も掛け声も
ウェルカム、みんなで踊って盛り上がりよう!



2026年9月、2027年2月にもイベント開催予定!季節ごとに、まちのだれもが楽しめる場をつくります!

発行元: 二子玉川ライズ／SETAGAYA REPUBLIC FES実行委員会

企画・制作: 三茶ワークカンパニー株式会社／六歩株式会社

編集集: 西小路舞姫 (saicorom Inc.)

執筆・編集協力: 藤本麻子

撮影: 伊達直人

デザイン・イラスト: CHACO

2026年7月9日発行

※紙面の情報は2026年7月9日現在のものです。

※イベントの内容は変更・中止となる場合がございます。

